

3 <みかんの木の寺> ワーク・シートによる読み

つぎの文しょうをよみ思いうかべたことや考えたことを書きなさい。

その つぎの 日も、みんなは、また みかんの 木の下に あつまりました。

すると、木の えだに ポール紙の ふだが 下がって いました。

「みかんを とるな。まだ すっぱいぞ。」
ポール紙には、こう 書いて ありました。

「おじょうさんが 書いたのだな。」
みんなは、顔を 見合わせて わらいながら こそこそと 帰りました。

それから、また その つぎの 日に 行くと、
「あと、四・五日だ。まだ とるな。」
と、書いて ありました。

そこで、みんなは ほんとうに、四・五日まちました。

そして、とうとう
「あすまで、おまち。あと 一日だ。」
みかんの 木に こんな ふだが かけられた つぎの 日のことでした。

いちろうたちは、みんなで そろって お寺の 門を はいって いきました。

ところが、
「あっ。」
と、みんなは、思わず 声を たてました。

みかんが ないのです。

きのうまで、あんなに たくさん なって
いた みかんの みが きょうは もう
一つも なく なって いるのです。

これは、前日、おじょうさんに叱られてにげ帰ったのに、また、みかんの木の下に集まった子どもたちの気持ちを、どう読みとったかたしかめる

①みんなは、どんなことを 考えて、あつまつたと 思いますか。

②「みかんを とるな。まだ すっぱいぞ。」
と みじかく 書いて ありますが、このほかに、おじょうさんは、どんなことを、いいたかったと 思いますか。そうぞうして 書いて ください。

③帰るときの みんなの きもちを そうぞうして 書いて ください。

④みんなは どんなことを 考えて、四・五日 まったくのでしよう。

⑤「お寺の 門を はいるとき」 みんなは どんなことを かんがえていたでしよう。

⑥みかんが 一つも なく なって いるのを みたとき、みんなは、どんなことを、思ったでしようか。

以下は、授業で、ワーク・シートに書き込んでもらったものである。

(1) つぎの日、みんなはどんな気持ちで集まつたか。

ものである。「学校へ行く道に」、お寺があつたので、帰りに、きょうはどうかなと寄ってみたものであろう。きのうまでのできごと、気持ちをまとめ、「また みかんの木の下にあつまつた」ことから、想像して答えることになる。結果は次のようになっている。